

児童福祉論 I

担当教員 金和 史岐子

配当年次 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

- 1 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要を理解できる。
- 2 児童・家庭福祉制度の発展過程を理解できる。
- 3 児童の権利について理解できる。
- 4 相談援助において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解できる。

【授業の展開計画】

[授業全体の内容の概要]

児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度を児童の権利から理解できる。

[授業終了時の達成課題]

社会情勢を学び、社会福祉士に必要な児童・家庭福祉制度の最近の動向を理解できる。

週	授 業 の 内 容
1	児童や家庭に対する支援と家庭福祉制度の概要・課題
2	児童・家庭の生活実態と社会情勢
3	福祉需要（子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力）
4	福祉需要（地域における子育て支援及び青少年育成）
5	児童・家庭福祉制度の発展過程
6	「児童福祉法」（児童の定義と権利）
7	児童相談所の役割と実際
8	「児童虐待の防止等に関する法律」
9	「DV法」「母子及び寡婦福祉法」「売春防止法」
10	「母子保健法」「次世代育成支援対策推進法」「少子化社会対策基本法」
11	「児童手当法」「児童扶養手当法」「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」
12	児童・家庭福祉制度における組織（国・自治体・家裁・児童委員等）や団体の役割の実際
13	児童・家庭福祉制度における専門職（保育士・家庭支援専門相談員）の役割の実際
14	児童・家庭福祉制度における他職種（医療・教育・労働）との連携、ネットワーキング
15	児童・家庭に対する相談援助活動

【履修上の注意事項】

社会福祉士国家試験受験資格取得者希望者は、必ず履修する。授業前にテキストを読むこと。授業後にポイントをおさえて復習しておくこと。

【評価方法】

試験100%により評価する。

【テキスト】

福祉士講座編『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』第5版、新社会福祉養成士講座⑮、中央法規。

【参考文献】

随時、授業時紹介する。